



噴火災害から11年 ～登山の安全啓発と魅力発信～



石室山荘&黒澤館オーナー
向井修一
マイスター1期生

御嶽山は、2014年9月27日（土）の噴火災害から11年が経ちました。当時、私は山小屋で噴火を体験し、150人の登山者を迎え入れ避難誘導に当たりました。

噴火体験談については、地元小学校の子どもたちにお話する機会をいただいております。私の話を聞いた子どもたちが、次世代に活火山のことを伝えてくれたら嬉しいと思っています。

安全啓発活動でヘルメット着用について登山者にお声かけはしますが、あえて強要はしていません。逆に、装備をしっかりされている登山者を褒めて、そうでない登山者に装備の大切さが伝わればよいと思い、お話しさせていただいています。

魅力発信については、四季折々の植生、登山ルートのご案内、ライチョウの生態、御嶽山の歴史を知っている限りの角度からお話しています。

今季もありがとうございます。麓の黒澤館は冬季も営業しております。ぜひともお立ち寄りください。（向井）

御嶽山九合目
石室山荘



別名“雲上の宿”



胸突き八丁の絶壁に建つ山小屋

啓発活動報告

●マイスター認定から3年経て

私は御嶽山安全登山啓発活動に参加して3年目となります。1年に2回ほど参加しておりますので、今回で6回目となりました。この3年間で、ヘルメットの携行率に大きな変化が見られました。3年前は、ヘルメットをリュックに付けていたり、リュックに入っているとされる膨らみがあったりする登山者は、それ程多くは見られませんでした。

しかし今年の9月27日は、朝7時のロープウェイ運行開始時に並んだ約100名の登山者の9割以上がヘルメットを携行していました。中にはすでに着用している方の姿も見られました。もともと落石や転倒による頭部打撲などの観点から、ヘルメット着用が推奨されていましたが、この3年間で噴火に備えてのヘルメット携行の意識がかなり高まってきたと、実感しました。そこには、噴火を振り返った防災・減災番組の影響も大きかったかもしれません。啓発活動を行うごと



マイスター6期生
池田信三

に「噴火からもう11年にもなるんですか！」など登山者の皆さんからかけていただく言葉が増えてきているように思います。「お気をつけて！」のお見送りの言葉に、安全の願いを込めて、これからも啓発活動を続けていきたいと思っています。



アンケートの
QRコードは
←こちら！

“御嶽山頂カメラたん”紹介

●サポーター田ノ上和志さん



カメラたん映像（剣ヶ峰にて黙祷する登山者たち）

御嶽山火山マイスターネットワーク(O.V.M.N.)には、マイスターを応援するサポーターも在籍しています。その一人である田ノ上和志さんは、名古屋大学の御嶽山火山研究施設の元研究協力員で、O.V.M.N.のNew

ロゴ作成にあたり原案を出して、多大なサポートをしてくださいました。（裏面）また、剣ヶ峰のライブカメラである【御嶽山頂カメラたん】を設置され、御嶽山の安全啓発を担っておられます。YouTubeにて過去のアーカイブ映像や、時期によってはライブ映像も公開されています。チャンネル登録よろしくお祈いします。



【御嶽山頂カメラたん】
@live_ontake3067
YouTubeチャンネル
←登録はこちら

●アンケートカードの配布

表 裏

啓発活動では、美しい御嶽山の自然の写真を名刺ほどのサイズに仕上げた3種類のアンケートカードを配布していました。



裏面にはQRコードが記載されており、そこから回答いただくシステムです。「毎年登っているんですよ。昨年もカードいただきました！」などのお声もいただき、登山者にはかなりの人気でした。左記からもアクセスできるのでぜひご協力をお願いします。（池田）

マイスターが日本火山学会で個人発表！ ～日本火山学会2025年秋季大会～

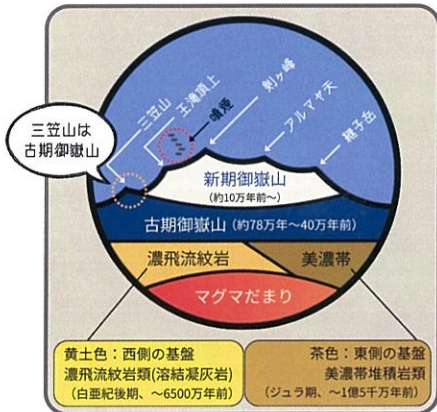


日本火山学会秋季大会で、第24回地震火山地質こどもサマースクール御嶽山(木曽町,王滝村で8月に開催)について、発表してきました。サマースクールでは小学5年～高校生までの子供たちがチームをつくり、「御嶽山はなぜ大きいのか」をはじめとする3つのナゾを、各地の観察や実験を通して解き明かしていきました。サマースクールを通して、子供たちがどのようなことに興味を持ち、何を感じたのかアンケートから分析した結果や、幅広い年齢層の子供たちが協働して謎を解き明かしていくことの教育的な意味を発表しました。合わせて、今回のサマースクールで講師をはじめ、現地スタッフとして活躍した御嶽山火山マイスターの活動についても紹介しました。また「出張御嶽山ビジターセンター」のブースでは多くの方に足を止めていただき、私たちマイスターの活動について火山の専門家の皆様に知ってもらいたい機会となりました。(山本)



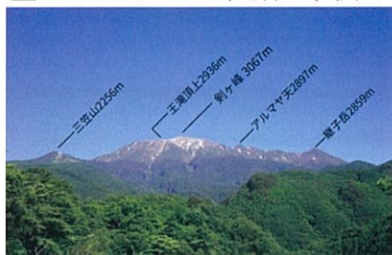
ロゴの解説

サポーター田ノ上さん(表面紹介)の原案をいただき、O.V.M.N.でアレンジを加え、今夏めでたく完成したNewロゴカラーバージョンの解説をいたします。



●Newロゴ(カラーVer.)

ポイントは古期御嶽山の名残である三笠山です。三笠山も御嶽山であるということにご注目ください。さらに地中部分には、基盤になっている2種類の堆積岩類を配置し、御嶽山は活火山であるというPR観点から、地下のマグマだまりと噴煙を入れました。三岳地区から見える御嶽山と同じ構図になっています。(松下)



●三岳地区から見た御嶽山

イベント報告

火山学会の最終日10/4に開催された『公開講座・親子火山実験』には、火山や地質に興味がある子供たちが多く集まりました。室内では、簡単な道具で水蒸気噴火や溶岩流を再現する実験を行い、屋外では、実際に1000℃の溶岩を作り砂山に流して観察をしました。溶岩実験は子供達だけでなく、大人の方々も興味を持って見入っており、こういった実験を通して、火山や地質学への関心が高まっていけば嬉しいです。(小口)



Ontake's photo



「御嶽山の紅葉」

8合目の森林限界に近い女人堂付近では、ナナカマドが素晴らしい色付きで目を楽しませてくれました。「今年の紅葉は、2014年の噴火以来一番かもしれない」と女人堂の支配人も話しておりました。荒々しい山頂稜線と紅葉のコントラストは御嶽山ならではの風景...正式に国定公園になれば、紅葉シーズンはさらに賑わうはず。火山マイスターとしても嬉しいシーズンとなりました。(三浦)

記録的猛暑の夏でしたが、9月の冷え込みで紅葉がすすみ、涸沢など北アルプス各地からは10年ぶりの素晴らしい紅葉だとの知らせが。私たちの山、御嶽山の紅葉もひけを取らず、黒沢口登山道

お問い合わせ&SNS



木曽町御嶽山
ビジターセンター
さとテラス三岳

- 長野県木曽郡木曽町三岳10491-1
- 0264-24-0197
- ovm.network@gmail.com
- 各種SNSは右記のQRコードから→フォローよろしくお願いします!



Instagram



Facebook



X(Twitter)



マイスター
紹介ページ